

本校の教育活動を紹介します。情報量が多く読みにくいかも知れませんが、目を通してもらえるとありがたいです。ねらいや思いをご家庭と共有しながら、各取組を進めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

帯広市立翔陽中学校 学校だより 特別号①（教育活動の概要）



《学校教育目標》 豊かな心で たくましく 意欲をもって 希望(ゆめ)を叶えよ

令和8年5月18日(月)

帯広市立翔陽中学校

校長 大泉 昭人

TEL 24-3121

ホームページはこちら →



翔陽中HP

学校教育目標の達成に向けて

<はじめに>

急速なテクノロジーの発展、社会情勢の変化など、予測困難な「VUCA」と言われる時代の中で、生徒一人一人が、多様な人々と協働しながら**持続可能な社会の創り手となる**ことや、幸せや生きがいを感じ、社会全体が豊かさを感じられるようになる**（ウェルビーイングの向上）**ための教育の在り方が求められております。

<令和の日本型学校教育>

学校においては、**子どもたちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」**のよさを更に発展させ、子どもたちに未来社会を切り拓く資質・能力を確実に育むことが求められており、本校では**「個別最適な学び」**（個々の習熟度や興味に応じた学習）と、**「協働的な学び」**（多様な他者とよりよい考えを生む学習）を充実させる取組を進めてきました。

その様子は、随時、学校だよりやホームページで紹介していきますが、年間の取組の概要を本紙（特別号①）、具体を別紙（特別号②）でご紹介いたします。

<学校教育目標>

豊かな心で たくましく 意欲を持って 希望を叶えよ

<目指す学校像>

- ・生徒が主体的に学び、笑顔あふれる学校
 - ・教職員が役割を自覚し、働きがいのある学校
 - ・保護者・地域が信頼をよせ、協働する学校
- （ウェルビーイングを育む学校）**

<目指す生徒像>

- (1) 主体的に学び、向上心にあふれた生徒
- (2) 何事にも挑戦し、やり抜くたくましい生徒
- (3) 自他を尊重し、思いやりにあふれた生徒

<教育活動の具体>

学校教育目標の達成に向けて、知・徳・体を一体で育む教育活動の具体として、①安全指導の取組、②学力向上の取組、③体力向上の取組、④豊かな心を育む取組、⑤小中連携（学びをつなぐ）の取組を行います。（別紙「翔陽」特別号②参照）

<目標達成へのスローガン「揺るぎない翔陽プライドの確立」>

翔陽中学校区には、優れた行動力を持ち、未開の地に足を踏み入れる勇気や苦難を乗り越えてきた進取の精神が「開拓者魂」として息



づいています。それを「翔陽プライド」と名付け、**①「挑戦する」、②「仲間を大切に」、③「元気に笑顔で」、④「主体的に行動する」**という4つの視点を大切にし、しっかり受け継いでいこうという願いを込めています。そして、**「自己指導能力」を高め**ていこうという合い言葉にしています。

「雨は誰にでも降るんだよ。ただ、その時に、かさを持っていない人もいるってこと」（にしむらえいじ）

子どもたちを待ち受ける数々の試練、それを「雨」に例えたら、濡れるに任せるのではなく、「かさ」を持って歩ける子どもたちになってほしい。

<R7年度の翔陽生>

アセス検査より（R7.10月末の全校平均）

- <適応感> ※50以上で適応感が高い
- 全ての項目（生活感・教員サポート・友サポート・社会スキル・非認知能力・学習意欲）… 50以上
 - 3つの項目（教員サポート・友サポート・非認知能力）… 55以上

教育アンケートより（学校独自調査 R7.12月末の全校平均）

- <自己肯定感>
- 自分には良いところがある … 89%（6月比+2）
- <向上意欲・自立>
- 将来の夢や目標を持っている … 70%（6月比+1）
 - 地域や社会をよくするために何かしてみたい … 70%（6月比+2）
- <多様性・共生>
- 自分の考えが伝わるよう工夫している … 74%（6月比+2）
 - 話し合い活動で、考えを深め広げている … 84%（6月比±0）
 - 自分と違う意見について考えるのは楽しい … 77%（6月比+2）
 - 話し合い、互いの意見の良さを生かして解決していた … 79%（6月比+3）
- <幸福感>
- 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある … 92%

【今年度に向けて】

※ 生徒の努力、保護者の協力により、全体的に向上しています。個々の課題に着目し、全ての生徒が向上していけるよう、**「翔陽プライド」を合い言葉に自己指導能力を**育てていきます。また、**サポート体制を充実させながら、今後も学びの環境を保護者の皆様と力を合わせてつくっていき**たいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（裏面参照）
今後も、(1)将来の目標（生き方）について考えを深める「キャリア教育」、(2)学び合いを支える「集団づくり」、(3)危険なとき、困ったときの対処法を体得する「安全教育」を通して、引き続き、知・徳・体を一体で育む教育活動の各取組を進めていきます。（別紙「翔陽」特別号②参照）

※ 本紙（特別号①）には、教育活動の概要

表面…「教育活動の方向性」
裏面…「自己指導能力の育成」、「サポート体制」、「家庭・地域との連携」

※ 別紙（特別号②）には、教育活動の具体

p1-4…「安全教育の取組」、「学力向上を目指して」、「体力向上を目指して」
p5-8…「豊かな心を育む取組」、「エリア連携の取組」



令和8年度

帯広市立翔陽中学校 グランドデザイン

北海道教育の基本理念
「自立 共生」
十勝管内教育推進の重点
十勝らしい一人一人の
学びの実現

翔陽中エリア目標
ふるさとを愛し、地域づくりに
貢献する人をめざして

学校教育目標

豊かな心で たくましく 意欲を持って 希望(ゆめ)を叶えよ

帯広市教育基本計画の理念
ふるさとに学び
人がきらめき 人がつながる
おびひろの教育
帯広市教育指導の重点
新しい時代を生き抜く
児童生徒を育む

学校経営の基盤

すべては子どもたちのために

目指す学校像

- 1 生徒が主体的に学び、笑顔あふれる学校
- 2 教職員が、自己の役割責任を自覚し、やりがい・働きがいのある学校
- 3 保護者・地域が、信頼をよせ、協働する学校

Point 認め合う・支え合う・高め合う

目指す生徒像

- 1 主体的に学び、向上心にあふれた生徒
- 2 何事にも挑戦し、最後までやり抜くたくましさや活力がある生徒
- 3 自他を尊重し、思いやりにあふれた生徒

Point 自律自立・挑戦・寛容

目指す教師像

- 1 生徒の心に寄り添うことができる教師 【共感力】
- 2 学び続ける教師 【向上力】
- 3 チームを大切にする教師 【連携力】
- 4 謙虚で、礼儀正しい教師 【人間力】
- 5 明るく、元気な教師 【活力】

Point 率先垂範
最大の教育環境は教師

目指す家庭像

- 1 生活習慣を整え、躰、マナーを大切にする家庭
- 2 認め、励まし、ふれあいを大切にする家庭
- 3 学習習慣の定着を目指す家庭
- 4 学校・地域と連携できる家庭

Point 対話・受容・連携

今年度の重点目標

自己指導能力の育成

自己決定の場の提供・自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成・安全安心な風土の醸成
学習指導と生徒指導の一体化

今年度のスローガン

揺るぎない翔陽プライドの確立

挑戦する・仲間を大切にする・元気に笑顔で・主体的に行動する
子ども、教職員、保護者、地域が誇れる翔陽プライドを確立する

SHOYO

PRIDE

校内組織の向上

- ① 学校運営 **Point** 参画意識・組織的な運営
- ② 学年・学級経営 **Point** 共通理解・指導連携
- ③ 研修 **Point** 学び続ける教師集団
- ④ 生徒指導 **Point** ベクトルを合わせた生徒指導
- ⑤ 業務改善の推進 **Point** 働き方マネジメント・効率化・安定した日常

確かな学力の育成

- ① 授業改善 **Point** 生徒の発言で展開する授業
- ② 学習指導 **Point** 家庭学習の習慣化
- ③ 情報教育 **Point** 活用能力とモラルの育成
- ④ 教育課程 **Point** 特色・調和・地域に開く
- ⑤ 進路指導 **Point** 主体的に進路選択ができる指導・工夫
- ⑥ 評価評定 **Point** 指導と評価の一体化

豊かな心・健やかな体の育成

- ① 道徳教育の充実 **Point** 考え議論する道徳
- ② 特別活動 **Point** 建設的な意見を持った生徒の育成
- ③ 健康・安全指導 **Point** 健康・安全の保持増進
- ④ 環境教育 **Point** 豊かな感性
- ⑤ 部活動 **Point** 指導のねらいを共通実践する

今日的な課題

- ① 小学校との連携 **Point** 15歳の成長の姿をイメージ・小中で連携した研修
- ② 家庭・地域・関係機関との連携 **Point** 発信・信頼・開かれた学校
- ③ 特別支援教育 **Point** 校内支援体制の充実・連携
- ④ 危機管理 **Point** 予防・日常体制、未然防止・即応対応
- ⑤ 服務規律 **Point** 同僚性を高める・働きやすい職場

学校評価

地域との連携・協働
コミュニティ・スクール機能の充実
生涯学習・町内会・福祉施設・関係機関他

幼保小中接続・連携の推進
エリア・ファミリー組織の充実
小学校、保育所・幼稚園、児童保育センター

生徒・保護者・地域の願い

1. 自己実現を願って…

○ 自己指導能力の育成 (重点目標とスローガン)

<学校の願い>

将来、社会の中で自分らしく豊かに生きる(自己実現)のために努力する生徒を学校として支えていきたいと思っています。

生徒は、多様な他者との関わり合いや学びの経験を通して、学ぶこと、生きること、働くことなどの価値や課題を見だし、自らの生き方や人生の目標を徐々に明確にしていきます。そのために、主体的な選択・決定を促す自己指導能力(なりたい自分に近づくために、他者を尊重しながら、自らの感情やとるべき行動をコントロールする力)が重要となります。

生徒指導提要によると、自己指導能力を育むには、生徒が主体的に課題に挑戦してみることや、多様な他者と協働して創意工夫することの重要性等を実感すること(生徒指導の視点を生かすこと)が大切であると示されています。

本校では、**生徒指導の視点をいかにした教育活動**を大切に、生徒の自己実現を支えていきたいと考えています。

… そのために、乗り越えること、考えることを支援していきます。具体的には、やるべきことはしっかりやることや、自らの取組を振り返ることを支援します。勇気が出ないときは背中を押し、間違ったときは何が違ったのか一緒に考えていきます。

<具体的な取組>

教職員は、次の4つの視点を意識しながら教育活動を行います。

また、生徒は**【青書き】(翔陽プライド)**の意識で臨むよう呼びかけ、生徒と先生の双方が意識しながら実践していきます。(順番はマズローの欲求階層説より)



① 安全・安心な風土の醸成

多様性を認め合い、安心して生活できる状態をつくる視点
【教師】約束と信頼づくりを促す(挑戦できる土づくり)
【生徒】**【挑戦する】**(勇気をもって)



② 共感的な人間関係の育成

他者と理解し合い、支え合える関係性を築く視点
【教師】話し合い活動を活用する(対話合意)
【生徒】**【仲間を大切に】**(敬意をもって)

- ① 挑戦できる・応援できる仲間
- ② 温かく・厳しさのある仲間
- ③ 信頼し・許し合える仲間



③ 自己存在感の感受

自分は大切な存在、役に立っていると実感できる視点
【教師】他者を大切にす言動を促す(意欲を引き出す挨拶や感謝)
【生徒】**【元気に笑顔で】**(意欲をもって)



④ 自己決定の場の提供

自分で考え、選択する機会を確保する視点
【教師】自ら選択する機会をつくる(課題担任)
【生徒】**【主体的に行動】**(責任をもって)



自己指導能力の獲得

他者を尊重しながら、自らの感情やとるべき行動をコントロールする力

・ 非認知能力の一部であり、意欲、自制心、やり抜く力、協調性などに数値化できない心の部分を示します。
・ 変容については、アンケート、行動観察、自己評価、感想などを組み合わせて可視化して見ます。
・ 小学校低学年時がコロナ禍で、デジタルネイティブの子どもたちだからこそ、体験的で多様な他者と関わる機会を大切にし、試行錯誤しながら自己指導能力を獲得してほしいと考えています。

自己実現

主体的な選択を行いながら、社会の中で自分らしく豊かに生きる

2. サポート体制の充実

(1) 登校サポート (多様な学びの場)

<学校の願い>

社会的な自立に向け懸命の努力を続けている生徒の取り組みを学校として応援したいと思っています。学習はもちろん、人とのつながりから生まれる感動や共感、心のぬくもりや情熱などにふれることで人は成長します。学校に登校することが全てではありませんが、できるだけ多くの経験、充実した生活を送れることを願い、本人・ご家庭と相談しながら登校支援を取り組んでいきます。

<具体的な取組> 選択しながら段階的に



※ 校内教育支援センター「オリナス」

一人一人の状況に応じた支援や学びで自立を支援します。学びや人とつながりながら、それぞれの活動や学習をしています。



<相談窓口> 担任の先生、教頭、齊藤先生(教育相談コーディネーター)

(2) 生活サポート (通級指導教室)

※ 通級指導教室「絢陽(つむぎ)」

一人一人の困りに対して、工夫したり、他者にサポートを依頼したりして、軽減する方法を一緒に考えます。



<相談窓口> 担任の先生、教頭、松橋先生(通級指導教室担当)

(3) 学習サポート (数学少人数指導・TT指導、学習会、AIドリル)

① 数学少人数指導・TT指導

数学(各種調査で学習の困り感が多い)において、**少人数のグループ別の学習**(1学級を2グループで学習)や、TT指導(1学級に複数の教員が入り指導)を行い、学習内容の定着を目指します。



② 学習会(夏・冬休み、テスト前、塾講師)

教員、高校生、大学生、地域ボランティア、塾講師などが学習サポートを務め、課題や試験勉強、受験勉強などを通して学習習慣の定着につなげます。



③ AIドリル「ミライシード」

家庭で、自分に合った内容、難易度の問題に挑戦し、学習習慣の定着を目指します。



3. 学校・家庭・地域の連携

(4) いじめや不登校等の未然防止と早期発見に向けて

<相手意識の醸成>

道徳を要とする全ての教育活動(別紙:特別号②参照)を通して、相手意識を醸成するとともに、**生徒指導の視点を生かした教育活動**を継続し、自己指導能力を高めるための取組を行っています。

<生徒主体のいじめ撲滅運動>

笑顔で楽しく過ごせる学校づくりをめざして、毎年、生徒会が中心となって各種イベントや活動を企画し、交流を進めています。昨年度は、あいさつ運動、いじめ防止サミット、いじめ撲滅集会などを通して、主体的にいじめ撲滅の啓発を行いました。



<多様な相談体制>

① 早期発見のために(以下のツールを活用しています)

- ・心の健康アプリ(毎日) ・翔陽版お悩みポスト(いつでも) ・アセス(年2回)
- ・みんなが安心できる学校づくりアンケート(年2回)
- ・いじめアンケート(年3回) ・心と体のチェックシート(夏休み前と後)

② 相談する大切さや多様な相談相手を伝えるために

・SOSの出し方授業 ・いのちの授業等
 ※授業の中で、多様な相談相手(担任以外の先生やSC、相談員、相談電話等の連絡先)を伝えています。また、「翔陽版お悩みポスト」(右カードも配付)では相談したい相手を指名できることも伝えています。(実際に様々な大人に相談がありました)



③ 教育相談の実施

・教育相談(年2回) ・面談(随時)
 ※定例の教育相談以外に、日常的に相談できる時間確保のために、昨年度より日課表を変更し、放課後の時間をつくりました。(火・木は清掃がありません)

<実効性を高めるために>

① 特別委員会による対応

・生徒指導委員会 ・校内教育支援委員会
 ※生徒の状況を共有し、支援・対応の方向性を検討します。各対策チーム(下参照)で具体的な対応を実施します。

② 対策チームによる対応

・相談室チーム ・不登校支援チーム ・いじめ対策チーム
 ※生徒の悩みや登校不安等への支援、いじめ防止・早期解決への具体的な対応を検討・実行しています。
 【参考】本校いじめ防止基本方針 →



○ 学校・家庭・地域の協働に向けて

<家庭と学校をつなぐ活動>

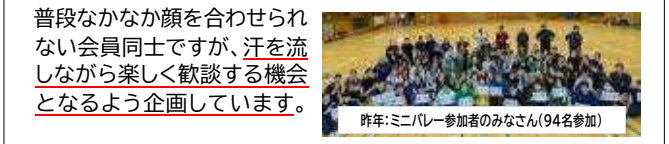
本校は主に4つの小学校から集まる中学校です。子どもたちは新たな人間関係づくりから始まりますが、保護者どうしや職員も同様です。お互いに顔見知りになることで、子どもたちの安心につながるという思いから、本校PTAでは「つながる」ことを大切に活動を進めています。

① 「情報でつなぐ」広報誌発行 <10月・3月広報部>



家庭と学校をつなぐ情報誌として発行する予定です。また、活動を通して会員同士の交流も大事にしています。

② 「スポーツでつなぐ」ミニバレー大会 <11月社会部>



普段なかなか顔を合わせられない会員同士ですが、汗を流しながら楽しく歓談する機会となるよう企画しています。

昨年:ミニバレー参加者のみなさん(94名参加)

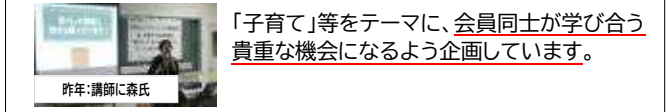
③ 「地域貢献でつなぐ」環境整備活動 <5月・10月事業部>



おしゃべりしながら楽しく作業を行いましょう!

昨年秋:環境整備の参加者のみなさん(35名参加)

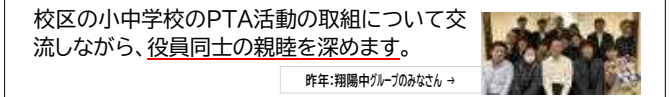
④ 「子育てでつなぐ」教育講演会 <10月事業部>



「子育て」等をテーマに、会員同士が学び合う貴重な機会になるよう企画しています。

昨年:講師に森氏

⑤ 「校区でつなぐ」翔陽中グループ会議 <7月・11月役員>



校区の小中学校のPTA活動の取組について交流しながら、役員同士の親睦を深めます。

昨年:翔陽中グループのみなさん →

※ この他、総務部で懇親会や茶話会を企画しているクラスもあります。

<思いを共有・協働へ>

「子育て」は、家庭と学校が共に悩み、共に楽しみながら、力を合わせて行うことが大切だと思っています。そのために、各おたよりで「学校の様子や一緒に取り組みたいこと」を伝えさせていただいたり、授業参観・懇談会、PTA活動、教育相談等により「つながりをつくること」を大切にしたりしていきます。また、日常の保護者からの連絡や相談で「悩みや思いを共有」させていただき、今年度も、思いを共有しながら協働していけるようご協力をお願いいたします。
 【参考】学校だより2号「一緒に取り組みたいこと」 →

※ この他、CSや地域学校協働本部と連携しながら、教育活動の充実を進めていきます。

< 翔陽生の状況へのアプローチ >

※ R7翔陽生の状況(表面より) (△に対する解決への取組↓)
 学習面...○学力(平均)、△学習の適応(方法・意欲・理解) ※ △は他より相対的に低かった項目
 生活面...○自己肯定感、夢や目標、△向社会的スキル(援助・関係づくり)

1. 教育による解決のアプローチ

学級・学年 < 学習の適応 ——— 方法・意欲・理解 ———> 授業改善(方法・理解)、自己指導能力の育成(学習習慣・意欲)
 < 向社会的スキル ——— 援助・関係づくり ———> SOSの出し方教育(援助)、自己指導能力の育成(良好な人間関係)

2. サポート体制による解決のアプローチ

学級・学年 < 登校に悩み ——— 登校サポート ———> 校内教育支援センター「オリナス」(人や学びとつながりを育む)
 < 生活に困り ——— 生活サポート ———> 通級指導教室「絢陽(つむぎ)」(改善方法を一緒に考える)
 < 学習に困り ——— 学習サポート ———> 数学少人数指導・TT指導、学習会、AIDリル(個別最適な学び)
 < 悩みの相談 ——— 教育相談サポート ———> 相談室チーム(教育相談コーディネーター・相談員・SC・養教)
 < 問題行動等 ——— 未然防止と早期対応 ———> 自己指導能力の育成(未然防止)、ICTツール活用(早期対応)